



弥生っ子

学校だより 第8号
令和7年11月28日
千葉市立弥生小学校

「体験活動を通して」

校長 高山 邦美

校庭を歩いていると、「トントン」と音が聞こえてきました。周りを見渡すと小動物がいるわけでもありません。また続く「トントン」という音を感じながら探していくと、やよい橋のトタン屋根にどんぐりが落ちる音でした。その響きの美しさに秋を感じました。また、環境委員とボランティアの児童が休み時間に落ち葉掃きをしています。落ち葉の「サクサク」という音に楽しみを見出し、意欲的に活動している姿から、秋の学びの深さを感じました。

さて、11月15日（土）学習参観にはたくさんの保護者の皆様にご来校いただきありがとうございました。友達と協力している姿や自力解決している姿など、子供たちの成長を感じました。また、午後のバザーでは、子供たちの素敵な笑顔と保護者の皆様の運営の素晴らしさに感動しました。どのゲームコーナーもシンプルなルールで楽しく活動することができ、一瞬の緊張感の後にくる、「やったー！」という子供たちの声に楽しさがにじみ出ていました。6年生はゲームコーナーを立ち上げ、自分たちで運営し、多くの子供たちを喜ばせることができました。準備をする過程での問題点を乗り越え、協力しながら突き進んでいく経験は大きな力となりました。保護者の皆様におかれましては、これまでの準備、当日の運営等にご尽力いただき感謝申し上げます。また一つ子供たちの心に、弥生小での楽しい思い出が刻まれました。

そして11月は、多くの校外学習を通して学びを深めた月でした。科学技術館や農政センターなどの見学施設や地域の施設での体験を通じて、教科書だけでは得られない「本物」に触れ、興味や関心を広げる姿が見られました。グループで協力しながら課題に取り組む中で、コミュニケーション力や主体性も育まれ、学びの成果がしっかりと表れています。こうした経験を通して、子供たちに豊かな心が育まれ、未来へつながる一步になればと思います。

いよいよ、今月は一年を締めくくる月です。そして、新しい年を迎える準備が始まる時期です。学校では大掃除を行い、学んだ教室に感謝するとともに、きれいにすることで、くる年にたくさんの福が授かりますようにという願いを込めて行います。また、12月から新年にかけて、日本の文化や伝統に触れる機会があると思います。体験を通して、季節の移り変わりや人とのつながりや伝統のよさを感じてほしいと願っています。

最後になりますが、保護者の皆様、地域の皆様には、いつもご支援・ご協力をいただき感謝申し上げます。足りないところもたくさんありましたが、皆様のご支援・ご協力のお陰で、ここまでくることができました。私たち教職員も、少しでも皆様に安心していただけるように、今後も安全・安心に留意した学校運営を続けていきます。皆様におかれましても、充実した日々を過ごされ、2025年の締めくくりを穏やかに迎えられますことを心よりお祈り申し上げます。新しい年が、皆様にとって希望に満ちた素晴らしい一年となりますよう願っております。



マラソン週間の取組